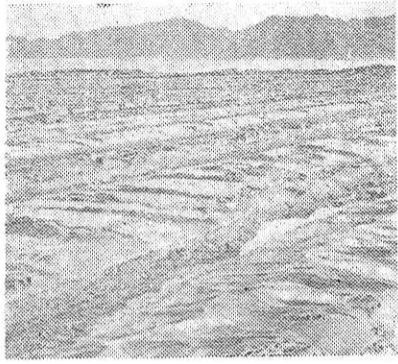


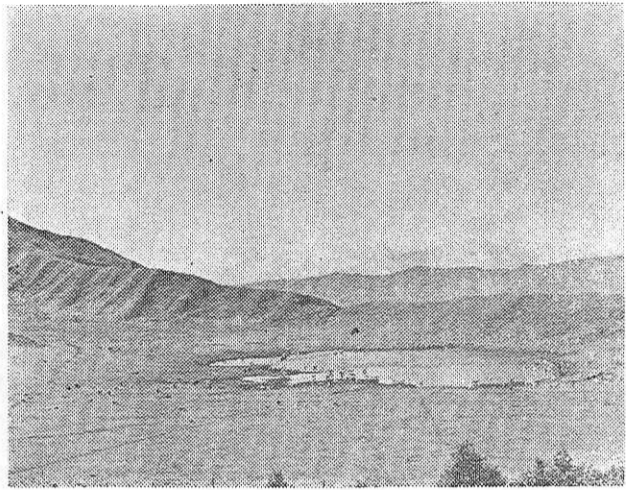
コンクール入選作品



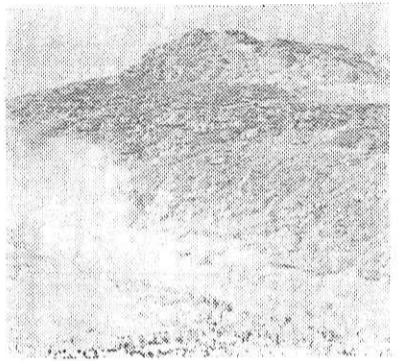
入選 奇岩
東京都北多摩郡久留米第三小学校
狭間 竜 芳



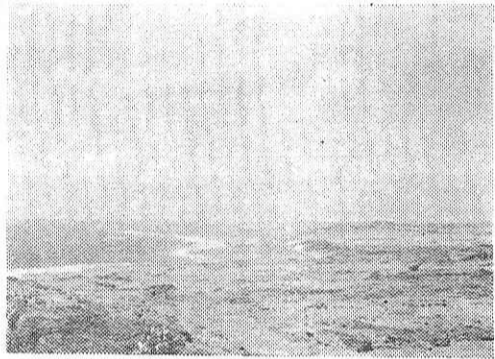
入選 層雲峡
武蔵野市大沢台小学校 春原 とし



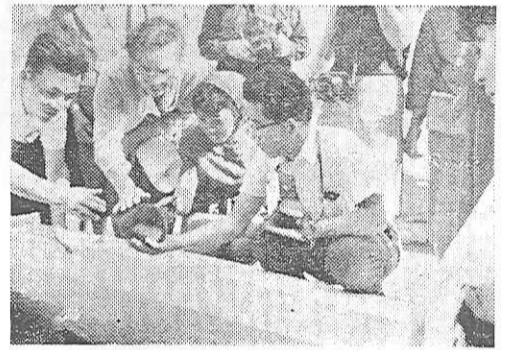
特選 阿蘇の放牧
松山市清水小学校 得能 克美



選 硫黄山
姫路市城南小学校 松浦 八重



入選 沖繩中部海岸
福島県大沼郡横田小学校
中丸 莊一郎



↑ 入選 まりも
大津市下阪本小学校 西川 綾子

研修旅行に参加して

北海道の思い出

沢田 甚吉

北海道研修旅行参加のみなさんへ。数人だ。シヤモ(和人)は悪人だ。九泊十日のながい旅でさぞお疲れだろう。アイヌの昔話を聞きながらアイヌの前途の幸福を祈る。

摩周湖

伝説の秘境、摩周湖附近は、濃霧が多いので、湖水の色を眺むものは幸運といわれる。湖ほとんども姿をみせない。珍らしく湖を見ますよ。ガイド嬢にせよ。ガイド嬢はアスを飛び下りる。ガイドのあとをつけて摩周の多い細い道を登りつめると展望台に出た。見え見え。見え見え。アイヌの心をつかむような魔力をもった湖だ。見た瞬間キョソソするよ。な湖である。真夏の頃に一時雨降りによって生計を立てている。彼等は表面は笑ってみせるが。そのほりの深い顔には、どこか寂しさが含まれている。アイヌ人は

沖繩教育の概観

水谷 善男

第八回研修旅行(旅行)に参加し、国際情報誌にゆすり、私の見た滞在三日間の見聞録です。沖繩教育の特殊性について述べる光面については「新しい日本」(1)に記します。

審査の総評

日本写真協会 蘭部 孝三

年を過すごとに応募作品の数が多くなっていることは通者として感ずる。特に本年は顕著に増えた。写真がすくなくかつたのは大いに遺憾だと思ふ。七位入賞作品はすくなくかつた内容を持つており、写真は写すだけでは困るのであって、写真のテクニクもさることながら、シヤモを押す前に、自分がどのように感じ、それを如何に写真で示すか、という目的を明確にしなくてはなりません。カラーの作品が多く、技術的にもすくなくかつたのは感心いたしました。なお、推薦や特選の作品批評は省略します。

- 第八回研修旅行写真コンクール
- 入賞者氏名(敬称略)
- 推薦 野本 利一
- 特選 北口勢津美
- 愛媛県 得能 克美
- 入選 (二〇名)
- (徳島県) 柏木喜一(富山県) 橋本秋子(兵庫県) 福島良一(兵庫県) 松浦八重(東京都) 菊島光子(東京都) 狭間竜芳(徳島県) 寺内逸人(滋賀県) 西川綾子(福島県) 中丸莊一郎(東京都) 春原とし(徳島県) 小林幸枝(東京都) 馬場真理子(東京都) 橋田美寛
- 代子(静岡県) 植田五郎(高知県) 疋田正雄(千葉県) 越川芳雄(千葉県) 石毛郁子(千葉県) 高田晴恵(千葉県) 堀静子(兵庫県) 西川丹次(神奈川県) 桐ヶ谷武雄(東京都) 保坂千代子(埼玉県) 大河原明子(兵庫県) 篠倉隆機(東京都) 高橋好(新潟県) 杉浦智(福岡県) 広吉定之(兵庫県) 山根和歌子(神奈川県) 田原正道(鹿児島県) 谷元義功(北海道) 松野力蔵(大阪府) 会田裕宣(茨城県) 和田千代(群馬県) 小林玉枝(三重県) 須崎行雄(東京都) 藤井照子(大阪府) 長谷川英子(埼玉県) 野口文和(東京都) 大内淑子(神奈川県) 仲手川寛

一、本土教育との比較

1、校舎の現有面積は本土の半分である。一九六三、二〇現在

小学校 七・一%

中学校 六・二%

高校 六・三%

これは戦災の甚大にともない戦災校舎は一九五〇年ごろまで放置されていたことによる。

2、不足教室は毎年四〇〇教室増える。

3、教材備品が乏しい、理科備品の基準達成率は小中校が二五・七%高校が三五・九%。職業教育備品は高校の組合目標額の五一・七九%に達している。

4、すし詰学級の多いこと、一四〇〇学級が生じている。一学級あたりの生徒数

本土 沖繩

小学校 三三・七 四四・三

中学校 四三・九 四六・五

高校 四〇・二

5、児童生徒一人あたりの教育費が少い。

小学校 一〇、四四〇円

中学校 一八、七八一円

高校 二九、五二二円

特殊学校 七一、三五三円

6、特別教室や付随施設はこれから整備をはかることである。

7、沖繩では重要な教育関係法が制定されていない。

8、教職員の基本給与水準が低く、扶養手当等の付加手当の制度がない。

9、各種の付加手当制度がないために教員の待遇は不均衡で条件が悪い。

10、教員、家族に対する医療保険や退職年金がない。

本土の共済組合法のような、病後と老後の保障制度がない。県条例による互助会もなく、互助会のかたちで沖繩教職員共済会があるのみである。

右はかけ足調査であるので不備な点も多々あると思う。

しかし沖繩における高校進学率は、那覇、首里の郊外地においては、八〇%の状況であり、これを中学校生徒数と高校生数との対比による全島平均を算出すると私立高校を除き全島高校において三二・七%の進学率である。

また沖繩人の気質についていとうと、歴史的宿命の影響が内気であり、なかなか胸を開いての話し合いはしないが、一旦打ちとけると積極的に話し合うという。

沖繩戦では十八万二千名の尊い犠牲者が出ている。教育関係者の殉職者については、教員七〇〇名、師範生徒五〇〇名、児童生徒を入ると、七、三〇〇名の尊い犠牲者を出している。(筆者は三重県公立学校職員互助会事務局長)

環境随一・交通至便

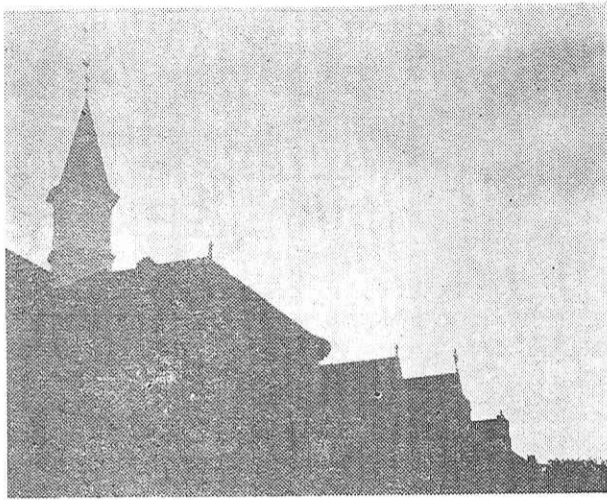
賀正

明治神宮北参道前

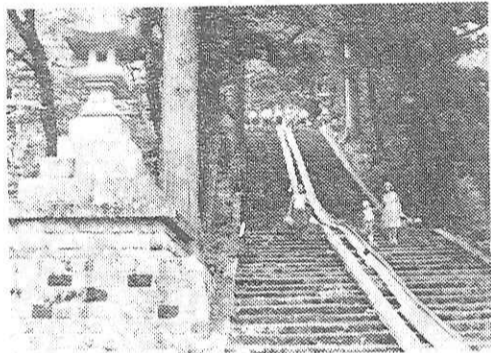
東京青年文化会館

東京都渋谷区千駄ヶ谷4の25 電話(401)5111~5 (千駄ヶ谷駅・代々木駅) 徒歩3分

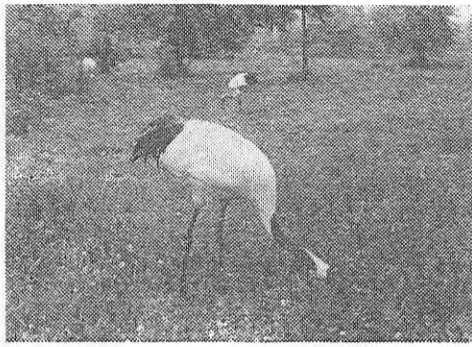
第八回 研修旅行写真コ



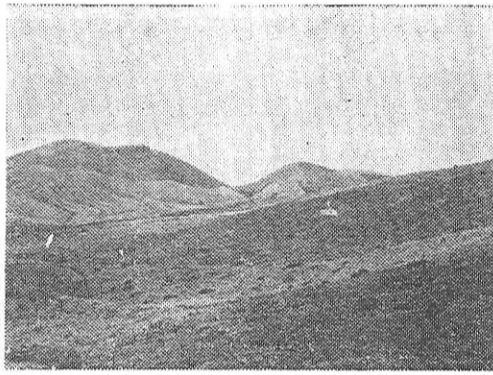
↑ 特選 トラピスト修道院
兵庫県尼崎市 北口勢津美



← 入選 大山寺
東京都小金井市木町
菊島光子

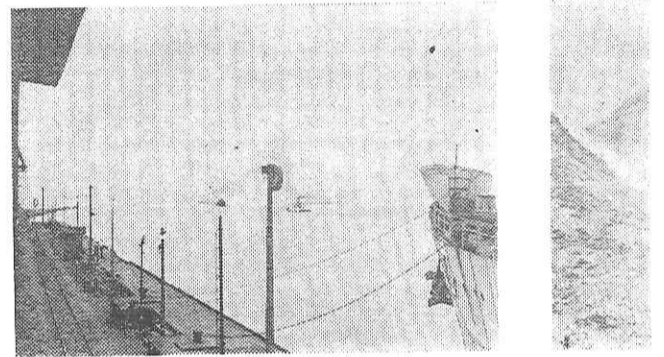
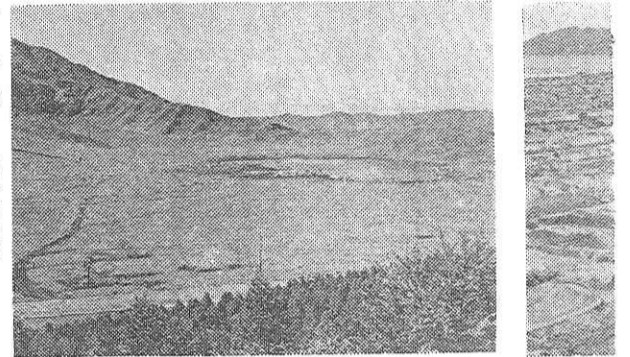


↑ 入選 丹頂鶴
徳島市かちどき橋 寺内逸人



↑ 入選 阿蘇のゴンドラ
富山市柳町小学校 橋本秋子

→ 入選 阿蘇の放牧
徳島市 柏木喜一



↑ 入選 青函連絡船のりば
神戸市神戸工業高校 福島良一



謹賀新年

財団法人 全国修学旅行研究協会

長野県支部長 綿貫 公二	山梨県支部長 五味 一男	神奈川県支部長 斉藤 正太郎	東京都支部長 青山 良道	千葉県支部長 狩野 政一	埼玉県支部長 岡田 憲一郎	群馬県支部長 北村 三喜	栃木県支部長 高橋 通亮	宮城県支部長 高橋 富士男	秋田県支部長 梅津 正雄	青森県支部長 盛田 三喜雄	監事 宮本 吉正	京都府支部長 菅田重左衛門	事務局 白滝 末紀	理事 河野 正夫	山形県支部長 完戸 一郎	北海道支部長 高田 治郎	常務理事 仲沢 俊次郎	兵庫県支部長 岡本 仁	常務理事 村山 助雄	茨城県支部長 永井 熙	理事 山本 種一	
鹿儿岛支部長 佐枝 常一	富山県支部長 田尻 貴	熊本県支部長 村上 望城	大分県支部長 田尻 一雄	長崎県支部長 田崎 辰夫	佐賀県支部長 柳川 善光	高知県支部長 中沢 義之	愛媛県支部長 大野 稔	徳島県支部長 岡 正夫	香川県支部長 吉田 一三	鳥取県支部長 伊佐田 甚蔵	山口県支部長 開地 茂行	広島県支部長 大西 八郎	岡山県支部長 杉山 澄生	大阪府支部長 石川 為蔵	和歌山県支部長 宮所 恒楠	奈良県支部長 吉田 新太郎	三重県支部長 森 孝太郎	愛知県支部長 宮本 秀吉	福井県支部長 和田 直三	石川県支部長 長谷川 耕蔵	富山県支部長 山本 宗間	静岡県支部長 木村 愛一

今年も夏休みのプランに!

(第9回)教職員 研修旅行

(会員募集中)

九州

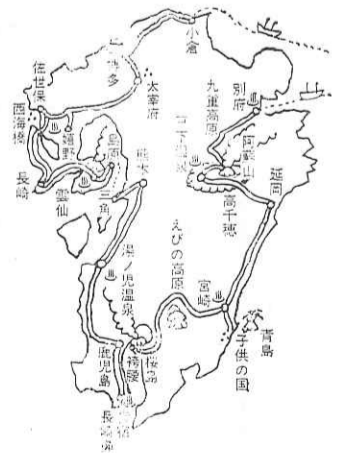
北海道



他に

東北一周、黒四ダムと乗鞍岳、南紀一周、山陰一周、四国一周、沖縄、香港台北などの諸コースもあります。

詳細は各学校へ配布の募集要項をご参照下さい。



財団法人 全国修学旅行研究協会

東京都千代田区西神田 1-3 TEL. (262) 2426, 2932